

別記  
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和6年3月15日

コミュニティ名 丹後府立学校若手事務職員勉強会  
「楽志塾」  
代表者所属名 京都府立丹後緑風高等学校  
代表者職・氏名 主任・堺谷 拓也

京都府若手教職員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

丹後府立学校若手事務職員勉強会「楽志塾」

2 研究テーマ

学び合いを通じたスキルアップと、学校経営への参画を担う次世代の事務職員  
の在り方について

3 研究の目的

近隣校の同年代の学校事務職員で情報・意見交換し、互いに刺激し合うこと  
により、スキルやモチベーションの向上につなげる。

4 研究の成果と課題

【成果】

- ・学校事務職員としての想いを話し合ったり、情報交換したりできた。
- ・事務職員が学校にいる意味について考える時間になった。

【課題】

- ・コミュニティ内での役割の偏りにより、会議や研修会の設定等に時間を要した。
- ・学校をよくすることについてなんでもできるコミュニティだからこそ、方針が定まりにくく、明確な成果が得られなかった。

## 5 研究成果の波及方法

勤務校や他のコミュニティでの実践を通して波及させる。

## 6 研究（活動）実績

年月日	研究（活動）内容（具体的に記入）	活動場所
R5.7.26	第1回会議 事業説明、今後の方向性について	丹後緑風高等学校（網野学舎）
R5.11.1	第2回会議 今後の方向性について	宮津天橋高等学校（宮津学舎）
R6.1.24	第1回研修会（大雪のため中止） 施設見学、授業参観、交流会	峰山高等学校
R6.2.13	第3回会議 1年間の振り返り、コミュニティの在り方について	丹後緑風高等学校（久美浜学舎）

※Teams上に「楽志塾」チームを作成し、対面形式での会議に参加できなかった人も確認できるよう情報共有しながら取組を進めた。